

令和8年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

令和8年4月23日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	60.9%					○
算数	56.4%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8%					○
情報の扱い方に関する事項	52.3%					○
話すこと・聞くこと	65.8%					○
書くこと	45.7%					○
読むこと	65.9%					○

【考 察】

- 全ての領域で、全国平均を上回りました。特に「情報の扱い方に関する事項」の領域において、「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解する力」が高く、日頃の授業で行っている「協働的な学びによる問題解決的な学習」において、考えに対する理由や事例を明確にして情報を整理し、新たな発信をするような活動が、成果につながっていると考えられます。
- 「書くこと」の領域では、本文を引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかをみる問題が高い正答率でした。内容や資料の読み取りと分類、段落相互の関係等を考える活動を通して、さらに書く力を高めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	61.1%					○
図 形	55.3%					○
測 定	78.1%		○			
変化と関係	41.1%					○
データの活用	48.6%					○

【考 察】

- 5つの領域の内、4つの領域で全国平均を上回りました。特に、「データの活用」の領域では、表の中の誤りを見つけ、その根拠について記述する問題で高い正答率となりました。授業の中で、自分の考えを図や式に表し、その理由や根拠について友達と交流する活動を多く取り入れてきたことが、力につながったと考えられます。
- 「測定」の領域のみ、全国平均をやや下回るという結果でした。示された情報を基に、数量の関係に着目して条件に合う時間を求めるという問題に課題が見られたので、複数の情報について正しく理解し、条件を整理して考えながら問題の解決ができるよう、繰り返し指導していきます。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	28.7	50.7	17.1	2.7
6	白二小	36.4	49.4	7.8	3.9

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均と比較すると、自分で学び方を考え、工夫して取り組んでいる児童が多く、約86%の児童ができています。今後も、学び方についてアドバイスしたり、友達のやり方や考え方を参考にする機会を設けたりしながら、子ども達がさらに工夫して学習に取り組めるようにしていきます
- 多くの児童が、分からないことをそのままにしないようにするという意欲が高いことが分かります。この意欲が、授業・学校生活・家庭学習・家庭生活と多様な場面で生かされることで、学ぶことや考えることの楽しさを感じられるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	10.5	11.1	28.3	29.1	14.5	5.7
6	白二小	10.4	7.8	36.4	31.2	11.7	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 6年生の家庭学習の時間を【10分×学年(6)+10分】以上と設定しており、半数以上の児童が目標を達成しています。今後も児童の実態に応じた宿題や自主学習のあり方などを工夫し、達成していない児童についても、家庭学習の時間の確保や習慣化に向けて指導していきます。
- 中学校生活に向けて「自己マネジメント力」が向上するように、声をかけていきます。そのためには、家庭の協力が不可欠ですので、ご家庭でも「メディアコントロール」を推進し、自分で考えて行動し、学習時間の確保と充実ができるよう、お声がけをお願いします。

- 3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 4	4 7. 0	1 7. 2	3. 4
	白二小	4 2. 9	4 2. 9	1 1. 7	2. 6

(単位 %)

【考 察】

- 85%以上の児童が、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげようと努めている様子が見られます。今後も、授業で分かったこと、よく分からなかったことについての振り返りはもちろん、次の学習への見通しをもたせることで、学習をつなげる意識を高める指導をしていきます。
- 学習内容は、全て学びの連続であり、前の学習を生かして新たな学びにつなげていくことがほとんどです。授業の中で自己の学びを振り返り、自分自身の課題を確認し、学習をつないでいけるよう、今後も学びを見つめ直す振り返りの時間の確保と充実に努めていきます。

- 4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		取り組んでいる	どちらかといえば 取り組んでいる	どちらかといえば 取り組んでいない	取り組んでいない
小 6	全 国	5 2. 7	3 8. 7	5. 5	1. 3
	白二小	5 8. 4	3 5. 1	1. 3	1. 3

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が、授業や学校生活の中で友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら、課題の解決に取り組んでいる様子が見られます。本校の研究副主題である「協働的な学びによる問題解決的な学習」が授業や学校生活の中で実践されていると考えられます。継続してより充実した授業を行い、生活にも生かせるように働きかけていきます。
- しっかりと自分の考えをもった上で友達の考えに触れることで、お互いの意見の共通点や相違点、よさやまだ分からないことなどに目を向けながら問題解決に取り組むことができているととらえています。自分で考えをもつ個人の学びと話し合う協働での学びがよいサイクルとなって学習の効果を上げることができるよう、授業を工夫していきます。